

15th Anniversary

2021 富山森のこども園 AtoZ

つながりをたやさない社会づくり活動支援特別助成（富山県共同募金会）

発行日 2022年3月1日

発行人 藤井徳子（富山森のこども園代表 / 富山福祉短期大学幼児教育学科講師）

執筆 富山森のこども園スタッフ有志
兼崎亜紀子 河野奈穂 鈴木佳子 塚本志織 野崎亜紀 針山佳奈恵
藤井徳子 松藤智恵 吉田朝美 吉本章子 米山愛

富山福祉短期大学幼児教育学科2年藤井ゼミ（自然保育）
川淵誠矩 黒崎穂奈 小西愛華 高橋優子 寺田翔一 野城絵夢
米島和佐 和田風吹

写真 松藤智恵

編集 荒井江里
デザイン 宝来社

協力 せんだんの活性化協議会 富山県共同募金会 富山福祉短期大学
（50音順 敬称略）

発行 富山森のこども園
toyama.morinoko@gmail.com
<https://toyamamorinokodomoen.com/>



message



2021年、富山森のこども園は15周年を迎えました。

我が家の5人の子どもたちは、カナダやドイツのシュタイナーコミュニティで育ちました。幼い子どもたちがいつも一緒だったということもありますが、現地の人々の暮らしのリズムが日本と違ってとても緩やかで心地よく、朝や夕方に家族そろって散歩したり、自然の恵みを楽しんだり、季節の巡りを肌で感じたりする経験は、それまで知らなかった新しい世界を広げてくれました。

ドイツから富山にやってきてそんな子育てが続くことを願って、森のこども園を始めました。以来15年、愉快的仲間と出会い、地域の方々や行政に温かくご支援いただき、今があります。これまでご縁をいただいた皆様に心より感謝申し上げます。シュタイナーは「人は7年ごとに節目が訪れる」と言っています。森のこども園は第3期“青春”に突入したところでしょうか！？

「富山森のこども園って何ですか？」と訊かれて、短い言葉で説明しようとするとうまくありません。森のこども園がやっていることや目指しているもの、その魅力がわかりやすく伝わるというなあと思うようになり、森の仲間たちとAtoZで森のこども園を表現してみました。どうぞこのミニブックを手にとって下さった方に森の爽やかな時間（とき）が届きますように。

富山森のこども園代表
藤井 Norichel Carsan
ノリチェル かあさん



ゼミ生紹介

富山福祉短期大学幼児教育学科2年生の藤井ゼミです。ゼミがスタートして以来、森の園舎で学生スタッフとして自然保育の実践を重ねてきました。園舎内の環境整備、里山さんぽ、絵本の読み聞かせ etc. 回を重ねるごとに保育技術はもちろん、子どもや保護者、地域の人たちとのコミュニケーションも上手にできるようになりました。4月からはいよいよ保育士デビューします。これからも子どもたちと一緒に自然を楽しんでいきたいです！



2021年度 主な活動

つながりをたやさない社会づくり活動支援特別助成（富山県共同募金会）



毎月第2日曜日 にちよう森のマーケット

栢檀野地域の木工さんや、庭づくりの得意な方々にご協力いただいて、森の親子も一緒に、コミュニティガーデンやコンポストを作りました。アースオープンには、栢檀野地域の斉藤木工所さまから、薪用の端材をご提供いただきました。



10/10 里山さんぽ

長谷川幹夫先生、久保田彩心先生、宮竹一成先生と一緒に、園舎の周辺を散策しながら親子で秋の自然観察会を実施しました。またハンズオン展示では珍しい鳥の羽根や角、巣など実際に触れて楽しみながら学ぶことができました。



11/15-12/15 ねっこぼっこ展 ※1

森のこども園メンバーでもあるフォトグラファー松藤智恵さんが、6年間に渡って撮り続けた森の子どもの写真展を開催（富山福祉短期大学 USP ホール）。栢檀野在住の木工作家長谷川敬雅さん創作の“ねっこぼっこの森”も出現し、「ねっこぼっこの世界が体感できる！」とたくさんのお客様に好評をいただきました。



※1-ねっこぼっこ
「根っここのこども」という意味。
絵本「ねっこぼっこ」（作：ジビュレ・フォン・オルファース）
で四季折々の自然の姿をねっこぼっこをメインに描いている。

12/18 はじめての木育講座「ベビースプーンづくり」

橋詰純子さん（滋賀県甲賀市みなくちこどもの森指導員）を講師に、“樹と木と人が繋がる”木育講座を開催しました。木のスプーンが四角い木枠の中に収まることで、スプーン→材木→樹→森へと想いを馳せられるようにデザインされています。純子さんの木にまつわる面白くてわかりやすいお話を聞きながら手を動かしているうちに、世界に一つの愛おしいマイスプーンが完成しました。



contents

富山森のこども園の魅力を AtoZ のキーワードでリストアップしました。

- | | |
|--|-------------------------------|
| A アースオープン | N ねっこぼっこ展 |
| B ベビースプーンづくり (木育講座) | O 美味しい 焼き火レストラン |
| C Coffee Klatch シュタイナー赤ちゃんサークル | P Parenting 森の子育て支援 |
| D Diversity 多様性 誰でも！ | Q Quality |
| E 園庭 | R ルドルフ・シュタイナー |
| F ふくたん 富山福祉短大 | S 梅壇野 (せんだんの) |
| G コミュニティキッチンガーデン | T つながる |
| H ハンドメイド 手仕事 | U 美しい |
| I Invisible | V ボランティア & バイタリティ |
| J 15 周年！ | W waldorf 人形 wood toys |
| K 子ども主体 | X 森のクリスマス アドヴェントガーデン |
| L ライブラリー 森の図書室 (伊藤忠記念財団子ども文庫助成) | Y 雪あそび イグルーブクリ |
| M 森の園舎 森のマーケット | Z 持続可能なコミュニティづくり |

A

アースオープン

土をベースに、地元の天然資材でアースオープンを園庭に手づくりしました(ニッセイ財団児童・少年健全育成助成)。ピザやパンなどどんなオープン料理も作れます！地域にひとつ共有オープンがあれば、災害時にも役立ちそうです。



B

ベビースプーンづくり (木育講座)

「はじめての木育講座〜ベビースプーンづくり〜」開催 (共同募金会つながりをたやさない社会づくり助成事業 協力：斉藤木工所 (砺波市梅壇野), マーシ園 (南砺市井波)。橋詰純子氏 (甲賀市みなくち子どもの森指導員) にご指導いただき、樹と木と人が繋がる幸せな時間になりました。



C

Coffee Klatch シュタイナー赤ちゃんサークル

自然素材の手づくりおもちゃなど、ぬくもりの感じられる森の園舎で子どもたちは自由に遊び、大人の人たちもカップ片手に、ゆったり心地よくお過ごしいただけます。



D

Diversity
多様性 誰でも！

0歳～何歳でも！性別問わず。国籍問わず。みんなの「こんなことやりたい」が叶う場ありますように。誰もが楽しめるコミュニティでありますように。



E

園庭

ここ旧砺波市立柵野幼稚園の園庭は、木々に囲まれ、立山連峰の眺めも最高です。親子自然観察会「里山さんぽ」や、NACS-J自然観察指導員講習会（すべての子どもに自然を！プロジェクト）も開催できました。



F

ふくたん 富山福祉短大

富山福祉短大幼児教育学科のゼミやサークルの学生たちが、学生スタッフとして参加しています。子どもたちや保護者、地域の方との交流は、リアルな社会参画として学生にとっても貴重な学びの機会となっています。



G

コミュニティキッチンガーデン

地域内外の人達が集い、野菜やハーブ、エディブルフラワーなどを織りまぜたポタジェガーデンとロックスパイルガーデンを一緒に育て、みんなで味わいます。（都市緑化機構「緑の環境プラン大賞」受賞）



H

ハンドメイド
手仕事

草木染、糸紡ぎ、人形づくり、しめ飾り、味噌づくり…「何でも買える」時代に自分の手で作る。そのモノのもつ歴史や意味に気づき、新しい発見があり、何より愛着が生まれる。



I

Invisible

星の王子様の名言 “What is essential is invisible to the eye. 本当に大切なことは、目には見えないんだよ。” 目に見えることってわかりやすいけれど、それよりも大切なものを幼少期にしっかり育てあげたい。



J

15周年！

2006年4月富山森のこども園開園。週3回の森のようちえん「にじみ絵の日」「クラフトの日」「焼き火料理の日」でスタートしました。

K

子ども主体

毎週木曜日は森のようちえん@ねいの里。子どもたちは森の中で思い思いに遊び、発見し、創造している。どんなにどろんこになっても、少々のケガもドンマイ！子どもたちがやりたいことを思いっきりやっている。いい笑顔があふれている。

L

ライブラリー 森の図書室
(伊藤忠記念財団子ども文庫助成)

森のこと、季節のこと、見えない世界のこと。子どもたちとの時間をもっと美しく愛おしく感じられるような絵本をセレクト。温かな陽ざしに包まれ、静かで落ち着いた図書室になりました。

M

森の園舎 森のマーケット

毎月第2日曜日は「にちよう森のマーケット」。森の園舎で様々なイベントを開催。園庭では焼き火レストラン、工芸作家によるワークショップや展示会、親子自然体験会 etc. 盛りだくさん！新たな出会いやたくさん笑顔が集まっています。

N

ねっこぼっこ展

富山森のこども園15周年を記念して写真展を開催。自然の中で遊ぶかけがえのない子どもたちの姿を、森の仲間である写真家、松藤智恵さんが6年間に渡って撮り続けてくれました。

O

美味しい
焼き火レストラン

青空の下で食べるとおいしい！みんなで食べるともっとおいしい！キッチンガーデンで育てた花や野菜でフラワーキャンディやシチュー、ピザも作りました。焼き火レストランはいつも大盛況！



P

Parenting
森の子育て支援

森のこども園は自主保育がウリです。「お客さん」として親子をもてなす支援ではなく、みんなで一緒に子ども大人も楽しい時間を創り出すのです。おやつ当番、囲炉裏の火おこし、焚き火調理、サークルタイム…やる事がいっぱい、だから楽しい！こうして共に支え合い育ち合っています。



Q

Quality

「質が質を育む」生活や遊びの中で、さまざまな質を直接感覚を通して体験することが、子ども自身の「人間としての質」を育てるのです。子どもにこそ本物を。



R

ルドルフ・シュタイナー

ドイツやオーストリアで活動した哲学者ルドルフ・シュタイナーは、シュタイナー建築、シュタイナー教育、バイオダイナミック有機農法、アントロポゾフィー医学、オイリュトミー芸術など、さまざまな分野に大きな影響を与えました。



S

梅壇野 (せんだんの)

自然豊かな砺波市梅壇野の新しい地域コミュニティ「せんだんのHILL」に、富山森のこども園「森の園舎」ができました。閉園した幼稚園を活用したウッディなかわいい園舎です。



T

つながる

森のこども園 x OO (梅壇野地域・富山福祉短大・富山県内外のアーティスト・富山の自然・・・) たくさんの素敵な人・コト・モノとの出会いとご縁に感謝!!



U

美しい

にじみ絵、トランスパレント、羊毛フェルト、ライアーの音色、森のさんぽ、自然のふしぎ etc. 多感な子ども時代にこそ、浴びるように美しい体験をさせてあげたい。



V

ボランティア & バイタリティ

森のお母さんといえばボランティア精神！ バイタリティ！ 自由な意思で自発的に、生き生きワクワクと、森のコミュニティを支えてくれています。

W

waldorf 人形
wood toys

小さな子どもたちは指先からも多くのことを感じています。そうやって遊びの中で、自然や地球の豊かさに触れてほしい。自然素材のおもちゃや手づくりのウォルドルフ人形にそんな願いを込めています。

X

森のクリスマス
アドヴェントガーデン

『待降節の庭』りんごろうそくを手に、一人一人、針葉樹の枝のスパイラルを歩きます。優しい灯りに照らされる子どもたちの顔は、少し誇らしげで、一年の成長を感じられる嬉しいひととき。

Y

雪あそび
イグルーブクリ

寒い冬も楽しく！ 圧雪ブロックをドーム状に積み上げるイヌイットの雪の家イグルーブクリは、子どもも大人も夢中になります！

Z

持続可能なコミュニティづくり

「子ども」を真ん中に、自然も人も繋がって、コミュニティの多様性が高くなり、いい循環が生まれていきます。



卒園児コメント

「小学校に入学するまではいつも自然の中で自由に遊んでいたような気がします。一緒に川で泳いだり、田舎裏で火遊びしたりしていた森の友達と高校で再会しました。今でもねいの里や有峰は、僕の小さい頃の思い出がいっぱいの特別な場所です。」

藤井太陽君
(2006-2012 在園)

